

平成26年9月5日

公立大学法人宮城大学
理事長 西垣 克 殿

公立大学法人宮城大学評価委員会
委員長 角山 茂章

公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価結果（平成25年度）
について（通知）

このことについて、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定により、別紙のとおり評価を行いましたので、同条第3項の規定により通知します。

公立大学法人宮城大学評価委員会事務局
（宮城県総務部私学文書課内）
担当：公立大学・公益法人班 柴，木戸
TEL：022-211-2295

公立大学法人宮城大学の
業務の実績に関する評価結果
(平成25年度)

平成26年9月

公立大学法人宮城大学評価委員会

目 次

I 評価の方法	1
II 項目別評価	1
第1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 教育に関する目標を達成するための措置	
(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置	
イ 学士課程	2
ロ 大学院課程	2
(2) 教育の内容等に関する目標を達成するための措置	
イ 入学者受入方針・入学者選抜	
(イ) 学士課程	2
(ロ) 大学院課程	3
ロ 教育課程	
(イ) 学士課程	3
(ロ) 大学院課程	3
ハ 教育方法	
(イ) 学士課程	4
(ロ) 大学院課程	4
ニ 成績評価	
(イ) 学士課程	4
(ロ) 大学院課程	5
(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	
イ 適正な教員配置	5
ロ 教育及び教員の質の向上	5
ハ 教育環境の整備	5
(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置	
イ 学習支援	6
ロ 生活支援	6
ハ 就職支援	6
ニ 経済的支援	7
ホ 社会人・留学生への支援	7
2 研究に関する目標を達成するための措置	
(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置	
イ 研究の方向性	7
ロ 研究水準の向上	7
ハ 研究成果の地域社会への還元	8
(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	
イ 研究の実施体制	8
ロ 研究費の配分	8
ハ 研究者の配置	9
ニ 研究環境の整備	9
ホ 研究活動の評価	9
ヘ 知的財産の創出	9

第2	地域貢献等に関する目標を達成するためとるべき措置	
1	地域貢献に関する目標を達成するための措置	
	(1) 県民の高等教育機関としての役割	10
	(2) 地域社会への貢献	10
	(3) 産学官の連携	10
	(4) 大学間の連携	10
2	国際交流等に関する目標を達成するための措置	11
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	
	(1) 理事長を中心とする運営体制の構築	11
	(2) 戦略的な予算等の配分	11
	(3) 学外の有識者等の登用	12
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	12
3	人事の適正化に関する目標を達成するための措置	
	(1) 人事制度	12
	(2) 評価制度	12
4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	
	(1) 事務組織の見直し	13
	(2) 事務の効率化	13
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	
	(1) 外部資金の獲得	13
	(2) 自己収入の確保	13
	(3) 授業料等の適切な設定	14
2	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	14
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	14
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置	
1	自己点検・評価の充実に関する目標を達成するための措置	14
2	情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置	15
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	15
2	安全管理等に関する目標を達成するための措置	15
3	人権の尊重に関する目標を達成するための措置	15
Ⅲ	全体評価	16

公立大学法人宮城大学の業務の実績に関する評価結果（平成25年度）

I 評価の方法

委員会による評価は、「項目別評価」及び「全体評価」により行う。

なお、項目別評価は、業務実績報告書の様式に示す項目ごとに、その状況を次の5段階で評定することにより行う。

評定	評 定 項 目	判 断 の 目 安
S	特筆すべき進捗状況にある	委員会が特に認める場合
A	年度計画を順調に実施している	自己評価の評定がすべて「Ⅳ」又は「Ⅲ」
B	年度計画をおおむね順調に実施している	自己評価の評定で「Ⅳ」又は「Ⅲ」がおおむね90%以上
C	年度計画の実施にやや遅れがある	自己評価の評定で「Ⅳ」又は「Ⅲ」がおおむね90%未満
D	年度計画の実施が遅れており、重大な改善事項がある	委員会が特に認める場合

II 項目別評価

(1) 評定の状況

(単位：件)

項目	S 特筆すべき進 捗状況にある	A 年度計画を順 調に実施して いる	B 年度計画をお おむね順調に 実施している	C 年度計画の実 施にやや遅れ がある	D 年度計画の実施 が遅れており、重 大な改善事項が ある	年度計画 なし (評定対象外)	計
第1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 教育に関する目標を達成するための措置							
	1	16				1	18
2 研究に関する目標を達成するための措置							
		9					9
第2 地域貢献等に関する目標を達成するためとるべき措置							
	1	4					5
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
		8					8
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置							
	1	4					5
第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に 関する目標を達成するためとるべき措置							
	1	1					2
第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置							
	1	2					3
全体	5	44				1	50

(2) 項目別評価の具体的な内容について

第1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置

イ 学士課程 (法人自己評価項目No.1～6)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ リメディアル教育センターの開設は非常に良い結果になったと考える。
- ・ 食産業学部農場における実践的教育を拡充したことを評価する。
- ・ 食産業学部のインターンシップにおいてその成果を報告書にまとめるとともに、発表会を行い、さらにオープンキャンパスで展示するなどの、事後のフォローは大変評価できる。インターンシップ事業をより効果的なものにするものである。

ロ 大学院課程 (法人自己評価項目No.7～11)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 全国的に学生数が減少している中で、大学院課程の学生数の確保について良い成果をあげている。
- ・ 看護学研究科の専門看護師育成への移行に向けた進展、専門看護師プログラムにおける取組を評価する。

(2) 教育の内容等に関する目標を達成するための措置

イ 入学者受入方針・入学者選抜

(イ) 学士課程 (法人自己評価項目No.12～17)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年

度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 学長等による高校訪問等，積極的な広報活動を評価する。
- ・ 異なる種類の入試を用いてより多様な学生募集を検討する余地があると思う。

(ロ) 大学院課程（法人自己評価項目No.18～22）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 看護学研究科において、社会人に配慮した入試により、入学定員以上に学生を確保していることは評価できる。

ロ 教育課程

(イ) 学士課程（法人自己評価項目No.23～42）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 国際インターンシップの単位化を整備し、リアル・アジア参加者が倍増したのは評価できる。
- ・ いずれの学部においても、英語力全体の向上が図られたほか、海外の大学等との交流や海外との連携プログラムの積極的な実施を通じ、学生を海外の大学等へ派遣していることについて評価する。

(ロ) 大学院課程（法人自己評価項目No.43～56）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 老年看護の申請が評価できる。
- ・ どの部局でも学士課程から博士課程前期あるいは博士課程後期の一貫した教育課程を目指して教育課程を見直していることは評価できる。

ハ 教育方法

(イ) 学士課程 (法人自己評価項目No.57～73)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ ベトナムで新たな実習施設を開拓していることが評価できる。
- ・ 看護学部、食産業学部において、実習の更なる充実が図られたことを評価する。

(ロ) 大学院課程 (法人自己評価項目No.74～87)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 幾つかの研究科では学生の研究成果を学外で発表することを奨励しており、そのための経済支援もしていることは評価できる。

ニ 成績評価

(イ) 学士課程 (法人自己評価項目No.88)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ GPAにより成績管理を行うことを始めたのは評価できる。その効果をぜひ追跡調査していただきたい。
- ・ GPAシステムの導入は、学生の成績のより正確な評価につながり、大学を国際化に対応するより優位な立場に置かなければならない。

(ロ) 大学院課程（法人自己評価項目No.89～90）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

イ 適正な教員配置（法人自己評価項目No.91～98）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 教授に欠員が生じているようだが、注意して充足させる必要がある。
- ・ 全ての人事を公募とし、模擬授業や研究発表を行うなど、研究業績のみの観点からではない人事を行っていることは評価できる。

ロ 教育及び教員の質の向上（法人自己評価項目No.99～104）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 教員評価と授業評価については以前から議論されてきた。大学は、適切かつ的確に評価し、実際の業績に報いるシステムを見いだそうとしているように思う。学生による授業評価は、より難易度が低い簡単な講座が評価を得ることで知られている。厳格な基準にこだわる教員が不十分な学生の評価によって不当に罰せられないように、ケアを確立することが不可欠である。同時に、教育サイドにとどまらない総合的な業績に報いる評価プロセスを確立するために、総合的な教員評価を決定する中での授業評価の役割は、継続的に点検される必要がある。

ハ 教育環境の整備（法人自己評価項目No.105～109）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 学内ネットワークシステムが整備され一層の機能充実が図られたことを評価する。
- ・ DB利用率が向上していることは、学術情報リテラシー教育の効果の現れであり、評価できる。

(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

イ 学習支援（法人自己評価項目No.110～114）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 学長の講義を受ける機会があるのは、学長の意向が直接生徒に伝わりやすく有意義であると評価する。
- ・ 休学中の学生へのフォローは優れており、継続すべきである。
- ・ 休学率や退学率ではどちらも大学院生のほうが比率が高い結果となっている。

ロ 生活支援（法人自己評価項目No.115～119）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 学生の意見を吸い上げる努力をしていることは評価できる。

ハ 就職支援（法人自己評価項目No.120～130）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 企業の人事部門へのPRを増やしたことは、学生の就職機会の面で明確に良い結果を生ん

でいる。

- ・ キャリア開発に力を入れ、引き続き高い就職率が維持されていることを評価する。

ニ 経済的支援（法人自己評価項目No.1）

【評定】平成25年度計画なしのため評定なし。

ホ 社会人・留学生への支援（法人自己評価項目No.131～132）

【評定】S 特筆すべき進捗状況にある。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、なおかつ特筆すべき優れた実績・成果が認められることから、当委員会としては、特筆すべき進捗状況にあると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 宮城大学の学生以外の社会の幅広い層に対する奉仕活動（例えばサテライトキャンパスでの講義）がみられる。
- ・ 留学生に対し積極的に様々な教育やイベントを行い、日本の状況や文化を伝授していることは高く評価できる。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置

イ 研究の方向性（法人自己評価項目No.133～137）

【評定】A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 地域パートナーとの優れた研究協力がみられる。
- ・ 引き続き地域との共同研究が、目標とする水準で行われていることは評価できる。

ロ 研究水準の向上（法人自己評価項目No.138～139）

【評定】A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 紀要を廃止した決断について、評価する。

ハ 研究成果の地域社会への還元（法人自己評価項目No.140～143）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 改良されたウェブサイトは、ユーザーに今まで以上に多くの情報を親切に提供していて、大変便利である。
- ・ シンポジウムや公開講座を高い水準で維持していることは評価できる。
- ・ 震災復興特別研究への積極的な取り組みをはじめ、シンポジウム、公開講座等の開催等により、研究成果を地域社会に還元していることを評価する。

(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置

イ 研究の実施体制（法人自己評価項目No.144～147）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 外部研究資金確保のプレッシャーは、多くの教員の独自研究のサポートを可能とし、よい結果を生んでいる。
- ・ 科研費の応募数は減少しているが、成功率は上がっている。これは内部チェックがよい影響を与えていることを示唆している。しかしながら、基金の合計額が減少しているという事実は、優先事項として取り組む必要がある。
- ・ 科研費の採択率が向上していることを評価する。

ロ 研究費の配分（法人自己評価項目No.148～152）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

ハ 研究者の配置（法人自己評価項目No.153）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

ニ 研究環境の整備（法人自己評価項目No.154～158）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

ホ 研究活動の評価（法人自己評価項目No.159）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ これは別分野でも何度か議論してきた件だが、公表数を単純に数えることは避け、量とは対照的に、優れた研究に真の評価を与える方法を見いだすことは、重要である。これは必然的に相互評価の要素を含むであろう。

ヘ 知的財産の創出（法人自己評価項目No.160～162）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価する。

第2 地域貢献等に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 県民の高等教育機関としての役割（法人自己評価項目No.163～166）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 「グローバル」に重点を置くことが、強く望まれる。
- ・ 積極的な高校訪問を評価する。
- ・ アカデミックインターンシップの拡大とその成果を評価する。
- ・ オープンキャンパスでの様々な工夫の結果、受験者のモチベーションを高める事になり実際の入学試験につながったと考える。結果、受験者のモチベーションを高める事になり実際の入学試験につながったのではないか。

(2) 地域社会への貢献（法人自己評価項目No.167～169）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 目標値以上のシンポジウムや公開講座を行っているのは、評価できる。

(3) 産学官の連携（法人自己評価項目No.170～173）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

(4) 大学間の連携（法人自己評価項目No.174）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員

会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

2 国際交流等に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.175～183）

【評定】 S 特筆すべき進捗状況にある。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、なおかつ特筆すべき優れた実績・成果が認められることから、当委員会としては、特筆すべき進捗状況にあると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 様々な交流イベントの開催、そして留学生の選択の多様性に対応すべく、提携校との関係維持に尽力した事は評価できる。
- ・ 「リアル・アジア」構想は宮城大学にとって依然として重要である。より多くの学生にインターンシップに参加することを推奨する必要がある。（例えばジェトロ、ハイダなど）
- ・ 特色ある方針を踏まえた、顕著な成果が認められる。
- ・ 各部局が多項目・多方面にわたり国際交流を推進していることはすばらしい。設定した目標をはるかに上回る成果である。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置

(1) 理事長を中心とする運営体制の構築（法人自己評価項目No.184～190）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

(2) 戦略的な予算等の配分（法人自己評価項目No.191）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

(3) 学外の有識者等の登用 (法人自己評価項目No.192~193)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置 (法人自己評価項目No.194~195)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置

(1) 人事制度 (法人自己評価項目No.196~203)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ プロパーの事務職員が順調に増加していることは望ましい。
- ・ 職員のキャンパス間異動を実施し、組織の活性化を図ったことを評価する。

(2) 評価制度 (法人自己評価項目No.204~207)

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 3年契約には明確なメリットがあるが、問題点もある。大学はできるだけ柔軟な雇用形態を保持したいが、教員は安心感を強く必要としている。特に海外から短期契約でトップクラ

スの教員を誘致することは容易ではない。

4 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

(1) 事務組織の見直し（法人自己評価項目No.208～209）

【評定】A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

(2) 事務の効率化（法人自己評価項目No.210～213）

【評定】A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

(1) 外部資金の獲得（法人自己評価項目No.214～218）

【評定】S 特筆すべき進捗状況にある。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、なおかつ特筆すべき優れた実績・成果が認められることから、当委員会としては、特筆すべき進捗状況にあると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 非常に成功した意識改革をしてきたものとする。
- ・ 外部資金の獲得については大きな努力により特筆すべき成果が認められる。
- ・ 積極的に外部資金獲得に向けて努力しており、結果として採択率も教員一人当たり獲得額も目標を上回ったことは評価できる。

(2) 自己収入の確保（法人自己評価項目No.219～221）

【評定】A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

(3) 授業料等の適切な設定（法人自己評価項目No.222～224）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.225～228）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.229～230）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置

1 自己点検・評価の充実に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.231～235）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

2 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.236～238）

【評定】 S 特筆すべき進捗状況にある。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」であり、なおかつ特筆すべき優れた実績・成果が認められることから、当委員会としては、特筆すべき進捗状況にあると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 明確な方針による情報公開の姿勢と成果が顕著である。
- ・ タイムリーな情報公開に努め、特に受験生とその保護者向けのメッセージの発信に尽力したことを評価する。

第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.239～242）

【評定】 S 特筆すべき進捗状況にある。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、なおかつ特筆すべき優れた実績・成果が認められることから、当委員会としては、特筆すべき進捗状況にあると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 特筆すべき進捗が認められる。施設設備の整備・活用については、さらに進めていくべきである。

2 安全管理等に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.243～247）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「IV 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「III 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 安否確認システムを利用した訓練を抜き打ちで7回も行っていることは大変な努力であり、評価する。

3 人権の尊重に関する目標を達成するための措置（法人自己評価項目No.248～250）

【評定】 A 年度計画を順調に実施している。

【評定の理由】

- ・ 法人自己評価の評定はすべて「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」であり、当委員会としては、年度計画を順調に実施していると判断する。

【評定に当たっての意見等】

- ・ 年度計画を順調に実施していると評価できる。

【全体評価に係る意見等】

(全体として)

- ・ 大学全体として順調に進展・発展し、活性化していると感じた。
- ・ 全体として目標達成に向けて努力の成果が認められる。

(入学者受入・就職支援について)

- ・ 入学志願者確保の取り組み、就職支援の取り組みにより、志願者確保の目標を達成し、高い就職率を維持していることを評価する。

(教育研究について)

- ・ 教育研究の質の向上のためにリメディアル教育センターを設置し、シンポジウム等を開催し、教職員の認識を深めたことは今後専門教育に移行する学生にとって大変有意義と感じる。
- ・ リメディアル教育や教養教育を積極的に検討し、各学部・大学院の教育内容を常に見直し、充実を図っていることも評価できる。
- ・ 教育に関する目標を達成するための措置について、「Ⅳ」の評価が増えることが望まれる。
- ・ 科研費採択率の右肩上がりの向上は特筆に値する。これからが正念場と思うが、引き続きの努力を期待する。
- ・ 今後も、まだまだ途上である震災復興に寄与できる研究等を期待する。

(国際交流について)

- ・ 概して、宮城大学は独自のブランドイメージを有し続けているが、「スーパーグローバル大学」の競争が激化している中、集中と明確な発信を継続し、将来的には、独自ブランドを発展させる必要がある。
- ・ 国際交流プログラムの拡大進展と、震災復興関連研究への積極的な取り組みやシンポジウム・公開講座等の開催により研究成果を地域に還元していることも評価できる。
- ・ 国際交流もとても順調に拡大していると判断する。ただ、どの程度が望ましいのか、限度もあると思うので、議論して見極めてほしいと思う。
- ・ 今後、グローバル人材育成のためにも、ふさわしい優秀な教員の確保が課題と感じる。

(教育研究組織について)

- 各部局とも組織見直しも含めて自己評価していると判断する。特に看護学研究科では専門看護師育成に向けた準備を行っていることが印象的だった。
- 定年退職者が多数出た中で、数のみ穴埋め的に補充するのではなく、いわゆる、数的には少ない状況下で、効率的に運営したと思われる。
- 事務職員のプロパー化が順調に推移しているようだ。プロパー職員が仕事の中核をなしていくのも時間の問題で、楽しみである。

Ⅲ 全体評価

第1 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

- リメディアル教育センターの設置や教養教育の充実に向けた取組、実践的教育の拡充等、各学部・大学院における教育内容を常に見直し、充実を図っていることは評価できる。また、海外の大学等との交流や海外との連携プログラムの積極的な実施により、教育のグローバル化を進めていることは大いに評価できる。
- 学生数の確保については、学長等による高校訪問や出前授業等、積極的な広報活動により高い成果を挙げているが、特に大学院において、社会人に配慮した入試等により多くの学生を確保していることは評価できる。
- 成績評価に関して、GPAによる成績管理を始めたことは、より正確な評価及び大学の国際化の観点から評価できる。今後、効果についてさらに検証されることを期待する。
- 教員選考に関してすべて公募とし、研究業績のみでなく、模擬授業や研究発表など、実際の教育力等を審査したことは評価できる。
- 学生への支援に関して、就職支援については、キャリア開発センターやキャリア担当教員等による各種セミナーの開催や企業の人事部門に対するPRの強化等を通じた積極的な支援により高い就職率を維持していることは大いに評価できる。なお、学生が挫折しないよう相談体制を強化しているが、学部 비해大学院において休学率や退学率が高い状況にあることから、今後もきめ細やかな支援に努めるよう期待する。
- 社会人や留学生への支援について、サテライトキャンパスでの講義や、留学生に対する様々な教育やイベントを積極的に実施したことは大いに評価できる。
- 以上、教育に関しては、総じて年度計画を順調に実施しているものと評価する。

2 研究に関する目標を達成するための措置

- 地域との共同研究が目標とする水準で行われているほか、シンポジウムや公開講座等の積極的な開催を通じ、研究成果を地域社会に還元していることは評価できる。
- 研究水準の向上のため、紀要を廃止し、国際ジャーナルや論文誌など外部での論文発表への転換を図ったことや、研究支援体制の整備により科研費の採択率が向上していることは大いに評価できる。
- 知的財産のデータベース化については、実施に遅れが見られていたが、既存の特許について情報の収集と整理に努め、ウェブサイトへの掲載により学外への情報発信を行う等の取り組みを行ったことは評価できる。
- 以上、研究に関しては、総じて年度計画を順調に実施しているものと評価する。

第2 地域貢献等に関する目標を達成するためとるべき措置

- 地域貢献等に関しては、震災復興に関連した研究への積極的な取組のほか、オープンキャンパスにおける企画の充実やアカデミックインターンシップの実施等により入学志望者の関心を高める取組を行ったことは大いに評価できる。

- 国際交流等に関しては、「リアル・アジア」等を通じたグローバルインターンシップや、留学生や日本人学生、地域団体間における様々な交流イベントの開催、海外における協定校との関係強化や新たな大学との交流に向けた取組など、特色ある方針に基づき多方面にわたり国際交流を推進していることは大いに評価できる。
- 以上、地域貢献等に関しては、総じて年度計画を順調に実施しているものと評価する。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- 業務運営の改善及び効率化に関しては、全体的に年度計画を順調に実施していると評価できるほか、プロパー職員を増員したり、職員のキャンパス間異動の実施により組織の活性化が図られたりするなど、年度計画を順調に実施しているものを評価する。

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

- 財務内容の改善に関しては、外部資金の獲得について、積極的な取組により教員一人当たりの獲得額が目標を上回るなど、優れた実績・成果が認められることから、年度計画を順調に実施しているものと評価する。

第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置

- 自己点検・評価、情報提供に関しては、特に、情報公開の推進について、タイムリーな情報公開に努めるとともに、特に受験生やその保護者に向けたメッセージの発信に尽力する等、明確な方針による情報公開の姿勢と成果が顕著であることから、年度計画を順調に実施しているものと評価する。

第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

- 安全管理に関しては、安否確認システムを利用した抜き打ちによる訓練を複数回にわたり実施するなど、積極的な取り組みが行われていることは評価できる。
- 施設設備の整備・活用について優れた実績・成果が認められ、大いに評価できる。なお、今後もさらに整備・活用を進めることを期待する。
- 以上、その他業務運営に関しては、総じて年度計画を順調に実施しているものと評価する。

まとめ

法人による自己評価については、法人自己評価250項目中すべての項目において「Ⅳ 年度計画を大幅に上回って実施している」又は「Ⅲ 年度計画を予定どおり実施している」とされている。

当委員会としては、項目別評価の結果も踏まえ審議した結果、法人の平成25年度業務の実績について、効率的かつ効果的な運営により、全体として年度計画を順調に実施しているものと評価する。

なお、今年度は現中期目標期間の最終年度であることから、目標の達成に向けた積極的な取組によりさらに大きな成果をあげ、地域に必要とされる大学として、更なる飛躍が図られることを期待する。